mercari R4Dご紹介





自己紹介



多湖 真琴

mercari R4D Director

弁理士。

京都大学卒業後、開発職として富士通株式会社に勤務。弁理士資格を取得後、TMI総合法律事務所にて権利化から係争まで幅広い知財業務を担当。

2018年メルカリに入社後、知財チームの初期メンバーとして 知財活動の立ち上げに従事。2019年よりR4Dを兼務しR4Dの ガバナンス強化に尽力。2023年より現職。

アジェンダ

- **01** about mercari
- 02 about mercari R4D
- 03 人文・社会科学系の研究への期待

about mercari

メルカリについて

私たちは「あらゆる価値を循環させ、あらゆる人の可能性を広げる」をミッションに掲げ、個人と社会をエンパワーメントする様々なサービスをお客さまに提供しています。

あらゆる価値を循環させ、あらゆる人の可能性を広げる

Marketplace



CtoC



BtoC



Work

Fintech



Payment

mercoin

Digital asset

Global & Local



US



Sports

バリュー

Go Bold

大胆にやろう

世の中にインパクトを与えるイノベーションを生み出すため、全員が大胆にチャレンジし、数多くの失敗から学び、実践します。

All for One

全ては成功のために

一人では達成できない大きなミッションを、チームの力を合わせ、全員が最大のパフォーマンスを発揮することで実現します。

Be a Pro

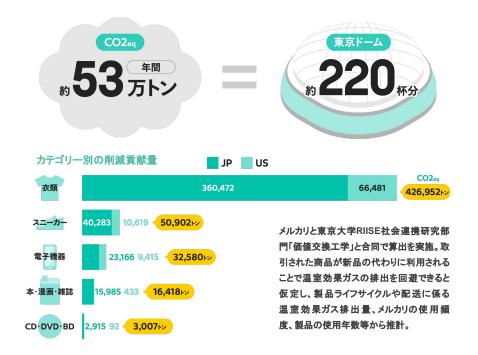
プロフェッショナル であれ

メンバー全員がその道のプロフェッショナルとしてオーナーシップを持ち、日々の学びを怠らず、成果や実績にコミットします。



事業を通じたポジティブインパクトの創出

「メルカリ」での取引を通じて生まれた温室効果ガスの削減貢献量は、算出対象カテゴリーで合計年間約 53万トンでした。 事業の成長を通じてリュースが推進されることで、限りある資源が大切に使われるサーキュラーエコノミーの実現に貢献します。





インクルージョン&ダイバーシティ(I&D)の取り組み

メルカリでは**ミッション達成に向け、インクルージョン&ダイバーシティ(I&D)は不可欠なものとして2018年より推進**を継続し、個々の多様な経験や視点を尊重した、世界的に競争力のあるチームづくりを目指してまいりました。 2021年1月には組織横断の社内委員会としてCEOの山田進太郎をチェアパーソンとする「I&D Council」を設立し、社内外のI&Dの推進に取り組んでいます。

無意識バイアスワークショップ

マネジャー以上は必須の研修で「無意識バイアス」(無意識の偏見)について理解し、それを日常で意識する習慣をつくることで、I&Dを推進しています。(資料は無償公開中)

Build@Mercariの実施

女性やLGBT+コミュニティの方などIT業界のマイノリティ(少数派)を対象とした、ソフトウェアエンジニア育成プログラム「Build@Mercari」を実施しています。

教育機関とのパートナーシップ

2023年4月に開校した私立高等専門学校「神山まるごと高専(仮称)」とI&D推進における学校教育パートナーシップ」を締結。学校教育の現場にメルカリの知見を取り入れていきます。







インクルージョン&ダイバーシティ(I&D)の取り組み



メルカリにはミッションに 共感するメンバーが

在籍しています

そのうち FY2023.6は、

社員の紹介で入社しました





外国籍社員比率は

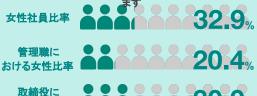
25.7%

25.7% 管理職

エンジニア

特にエンジニア組織を中心に 外国籍社員比率が増加しています

女性比率の改善を図るため、採用・登用・昇格の 各候補者プールにおける多様性の KPIを定め推進してい



30.0% おける女性比率



取得率は 91.4

男性の育児休業等 の取得平均日数は



男女間賃金格差の是正アクション

説明できない格差



報酬調整 実施



役割・等級や職種などの 差に起因しない 「説明できない格差」を 解消するために、 個別報酬調整を実施しまし



about mercari R4D



Research for

Design
Development
Deployment
Disruption

株式会社メルカリが 2017年12月に設立した、社会実装を目的とする研究開発組織

メルカリグループが目指す「限りある資源を循環させ、あらゆる人が可能性を発揮できる 社会」に向けて、イノベーションを創出する研究開発に取り組んでいます

mercari R4Dの特徴

循環型社会の実現に向けた研究開発の推進

ターゲット /アプローチ

- 既存ビジネスと地続きではない研究も スコープ(メルカリが目指す社会の実現 につながる研究)
- 包括連携等の共創イノベーション的ア プローチで研究を推進。萌芽的なテー マにも積極的に取り組む

研究領域のバラエティ

- IT系に限らず幅広い研究領域
- 自然科学系だけでなく人社系の研究も 推進

(例)

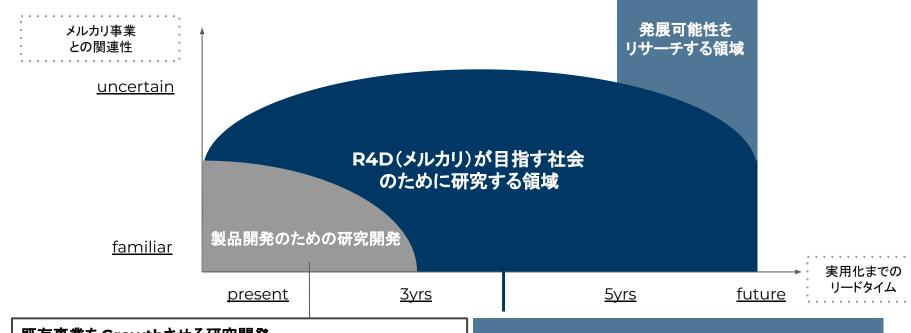
量子情報技術、HCI、mobility、BC、AI、 ELSI、コミュニケーション、価値交換工学

倫理性-社会性

- 全研究について研究倫理審査委員会 にて審査を実施
- 定期的な研究倫理教育
- ELSI研究の推進

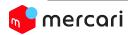


研究開発の範囲と時間軸



既存事業をGrowthさせる研究開発 (プロダクトドリブン)

例:自動車メーカーの燃費改善研究、製薬会社の新薬研究など ※メルカリ内:サービス適用を視野に入れたAI技術研究など "あらゆる価値が循環する"実現のための研究開発 メルカリが目指す循環型社会実現のための研究 3-5年先のメルカリへの貢献



コミュニティへの貢献

メルカリアプリデータの提供(学術研究機関向け)

実際のメルカリ上の取引データを研究利用できるように公開





<データセット概要>

- 商品情報(テキストデータ)
- ・商品情報(画像データ)
- ・コメント情報(テキストデータ)

- 所属問わず、個人の生活の質の向上等の 社会課題の解決に向けた研究ができる仕掛け に
- 今後は、研究者間のネットワークを拡大させる交流の場へ



人への投資

イノベーションエコシステムの活性化のための、産学の行き来をより柔軟にする仕掛け

社会人博士支援制度



- 職種問わず応募可能
- 学費全額負担(最大200万円/年程度)
- 研究時間と仕事時間を調整可能 (時短制度)
- 研究分野不問 (人社系の分野も積極支援)

リサーチャーの柔軟な雇用形態



- フルタイム勤務
- 時短勤務
- 大学との兼職 (≒クロスアポイントメント)

※リサーチャーの

柔軟なキャリアパスを支援

人材交流制度



- 阪大ELSIセンターとの人事交流 (人社系の新たな働き方を支援)
- 学振PDの受入れ 雇用制度導入機関*への登録

*研究環境向上のための若手研究者雇用支援事業



研究領域、産学、時間軸をも横断した包括連携事例(1)

領域横断の包括連携



東京大学に社会連携講座「価値交換工学」を設置。東大 RIISE内で研究領域を横断して連携。メルカリ社内の課 題発掘フェーズから協働。

(協働事例)

産学連携コンソーシアム



R4D永山が代表。量子インターネットの実現に必要な複数レイヤの研究者が集う、日本初の量子インターネット研究推進団体

(QITF HP)



研究領域、産学、時間軸をも横断した包括連携事例(2)

まだ見ぬ社会課題の発掘



大阪大学ELSIセンターとの共同研究や社内関連チーム協力のもと、研究が社会実装されたあとに起きうるまだ 顕在化されていない様々な社会課題に向き合う

インクルーシブな社会に向けて



東京大学との共同研究で人や商品の移動に使える風船構造のモビリティ「poimo」を開発。 未来社会の移動の自由度を高め、インクルーシブな社会の移動を支えることを目指す。 (poimo HP)



アウトリーチ

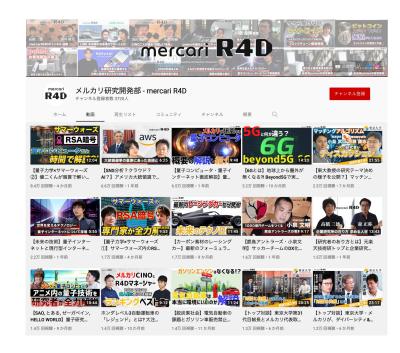
You Tubeチャンネル「メルカリ研究開発部 - mercari R4D」

4,400 subscribers!

mercari R4Dの研究内容やイノベーティブな人・コトを取り上げ、近未来的な情報をお届けする You Tubeチャンネルを運営。

<動画例>

- 量子力学×サマーウォーズ
- サッカーチームの DX化によるビジネス戦略
- 自動車のインターフェース変遷
- ELSI×バック・トゥ・ザ・フューチャー
- NFT, Blockchain





人文・社会科学系の研究への期待

R4Dが人社系の研究を通じて達成したいこと



人の営み・社会現象を研究する、という性質に着目

メルカリエコシステムに必要な制度・仕組みの設計

循環型社会実現に向けて

"あらゆる価値の循環する社会実現に向けた課題の分析。 根本に立ち返った問の設定。実現に向けた課題だけでなく、実現後に 発生しうるネガティブな面も含めた検証

- 「価値」とは?「循環」とは?
- 批判を含めた多様な知見の提供
 - ネガティブな側面や少数派の検証
- 社会にどう発信し協働していくか

自組織のアップデート

上記社会を牽引する組織としてあるべき姿を俯瞰的に研究。制度や仕組みの設計に活かす

- 企業が持つ価値観の言語化
 - ESG, I&D
 - ELSIの推進
 - 人材の採用・登用



他者との対話、異分野が研究対象、という性質に着目

技術の架け橋をつくる

新興技術と人との架け橋をつくる

社会実装の実現には受け入れる人"が不可欠。技術革新を社会的ニーズにどう適合させていくか?

- 生成AI等の新興技術をどのように安全にサービスに取り込むか。responsibleなサービス設計
- 人と技術のインタフェース、コミュニケーション。誰一人取り残さない社会の実現

複合領域同士の架け橋をつくる

より複雑な課題を扱うために、複合領域を横断した研究推進の場をどう設計していくか?

- "対話"を通じた共通認識・枠組みの醸成
- 文化人類学や哲学など、研究対象が多岐に渡る。異なる専門 領域へのアプローチの活用